

花き園芸栽培における 減農薬農法セミナー 開催のご案内

一般農作物(穀物・果樹等)の領域では減農薬が制度化され、自然環境保全・食の安心安全の観点から有機・循環型農法が注目されています。花と緑の領域でも、欧州を中心として世界24カ国で導入されたMPS(花き園芸農業環境プログラム)が、「MPSフローラルマーケティング株式会社」を中心に推進してゆくことが決まっており、花き園芸栽培においても減農薬による生産者・消費者の安全と安心を守る取り組みが拡がり始め、変化の時代に差し掛かっています。

2006年10月に600の花き園芸生産・流通・販売団体が参加のIFEX(東京国際フラワーEXPO)に於いて、MPSの導入が大きな話題を呼びました。さらに、この話題は花き業界にとどまることなく、他の業界に於いても同様であり、大きな期待が寄せられています。そこで、制度としてのMPSの実効を補完する減農薬農法(永座農法)を紹介された永座康全(えいざ やすまさ)氏が相談役を勤める弊社アースフィールが農法紹介セミナーを通年で開催し、減農薬農法を広めていきます。

永座有機園・微生物農法研究会の代表である永座康全氏は循環型有機微生物農法による28年間の減農薬・減化学肥料の素晴らしい実績を持ち、JAS有機栽培認証農家・特別栽培農家でもあります。また、日本全国の農業生産現場では氏のアドバイスにより、連作障害の克服、品種の改善等により、日本一の産地に生まれ変わることもあります。

氏の確立した循環型有機微生物農法は、一般農作物だけでなく花き園芸でも有効であり、減農薬・減化学肥料に効果があるだけでなく、連作障害を克服し、作物品質の向上、収量の増加、経営利益の改善を実現する驚異的なものです。

実際に奈良県のナス栽培の実績を例にとると、一般の農薬・化学肥料を使用する標準的な農家と比較し、品質の優位性は勿論のこと、同じ10a当たりの収量で2倍、売上高で3倍、利益で3~5倍以上ものパフォーマンスの差が生じることが確認されています。

セミナーでは、この驚異的なパフォーマンスを生み出す理論的背景、農業技術、各種経営改善等についてご紹介してゆく予定です。

理論的背景

微生物による土壌改善
微生物の理論(農業(耕的)技術)
減農薬・化学肥料農法の紹介
微生物の連作障害対策
病害予防と農薬の軽減
特定微生物資材の使用による攻守的改善
花卉への応用

各種経営指標

微生物農法のプロセス(時期・使用資材)
各種経営指標の例
(生産量・売上高・費用・利益)
経年での連作障害の克服状況
(特定有機微生物資材)
有機微生物資材の紹介
各種機材の紹介

セミナーの受付

毎月全国の代表的な生産地におきましてセミナーを開催させていただく予定ですが、ご要望により別途産地の状況に応じたセミナーの開催および現地圃場における実践指導も受け付けております。

問合せ先

株式会社 アースフィール 担当/金岡
〒105-6016 東京都港区虎ノ門4-3-1 城山トラストタワー 16階
TEL 03-5403-4818 FAX 03-5403-4646
info@earthfeel.co.jp

Earth Feel

【地球に触れて、地球を感じて】

株式会社 アースフィール
〒105-6016 東京都港区虎ノ門4-3-1 城山トラストタワー 16階 TEL 03-5403-4818 FAX 03-5403-4646

www.earthfeel.co.jp